

# 地域創生学部 地域創生学科 地域文化コース

令和4（2022）年度

外国人留学生特別選抜試験 問題用紙

## 現代日本語

### 注意事項

- 1 問題用紙は5ページ、解答用紙は1ページです。各ファイルの内容を確かめ、不備があった場合、ただちに申し出なさい。
- 2 解答用紙のファイルを印刷し、所定欄に受験番号を手書きで記入しなさい。
- 3 解答はすべて、解答用紙の所定欄に手書きで記入しなさい。
- 4 句読点は1字と数えなさい。
- 5 解答を記入した解答用紙をPDFファイルに変換し、期限（2022年1月21日（金）15時／日本時間）までに、次のメールアドレス宛に提出しなさい。  
puhnyusi@pu-hiroshima.ac.jp
- 6 受信の確認として2022年1月21日（金）17時／日本時間までに解答用紙を受けとった旨を大学から受験生宛に連絡します。大学からのメールが届かない場合、問い合わせをしてください。
- 7 問題用紙の文章について、面接でも質問します。良く読んでおきなさい。
- 8 問題用紙と解答用紙を印刷し、面接の際にすぐに参照できるように準備しておきなさい。
- 9 問題用紙、解答用紙を他者に見せたり、配付したりしてはいけません。

**問題一** 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

### オーバーツーリズムの定義

オーバーツーリズムは近年生まれた言葉及び考え方である。UNWTOが 2018 年 9 月に発行したリーフレット「‘Overtourism’? — Understanding and Managing Urban Tourism Growth beyond Perceptions」によれば、この言葉は、2016 年に米国の旅行業界向けメディア「スキフト (Skift)」によって初めて生み出されたとされている。

オーバーツーリズムの定義について、本リーフレットでは、リーフレットの作成に携わった大学が整理した以下の定義を引用している。

「観光地やその観光地に暮らす住民の生活の質、及び／或<sup>ある</sup>いは訪れる旅行者の体験の質に対して、観光が過度に与えるネガティブな影響」

これを受けて、観光庁発行の「観光白書」ではオーバーツーリズムについて以下のように述べている。

「特定の観光地において、訪問客の著しい増加等が、市民生活や自然環境、景観等に対する負の影響を受忍できない程度にもたらしたり、旅行者にとっても満足度を大幅に低下させたりするような観光の状況は、最近では「オーバーツーリズム (overtourism)」と呼ばれ

るようになっている。」(平成 30 年版「観光白書」p.111 より)

UNWTOは、オーバーツーリズムは適切な観光地マネジメントの欠如と無秩序な開発によって起こるとしており、「旅行者の数が増加するに従い、観光は旅行者と地域の双方に対して持続可能な方法で発展していかなければならない」としている。オーバーツーリズムは、持続可能な観光を実現するために向き合わなければならない重要な課題の一つと言える。

(国土交通省観光庁「持続可能な観光先進国に向けて(本文)」による。

出題の都合上、一部改変した。)

問1 オーバーツーリズムとは何か、本文の内容に即して80字以内で答えなさい。

問2 身近な例でオーバーツーリズムに関わると思われるエピソードを120字以内で書きなさい。

**問題二** 次の文章をよく読んで、理解しておきなさい。面接で問います。

- ①「文明が進むほど天災による損害の程度も累進する」と喝破したのは「天災は忘れたところに…  
…」の警句で知られる物理学者、寺田寅彦<sup>てらだ とらひこ</sup>である。寺田は電線や鉄道網を高等動物の神経や血管に例え「一カ所に故障が起きればその影響はたちまち全体に波及する」と警鐘を鳴らした。
- ②90年近く前のことだからその先見性には恐れ入る。高速道路や地下鉄、光ファイバー網まで広がった現代都市はさらに脆弱<sup>ぜいじやく</sup>性を増したようである。最大震度5強を記録した7日夜の地震<sup>\*</sup>でも都市の弱点が垣間見えた。
- ③人や建物の被害は限定的だったが、深夜に鉄道網がストップし、帰宅できなくなる人も出た。コンピューター制御で自動運転する日暮里・舎人<sup>にっぽり とねり</sup>ライナーは緊急停止時に脱輪した。千葉県では水道橋から水が噴き出し、東京都内でも水道管破裂の通報が相次いだ。
- ④大規模な停電や断水、交通や通信ネットワークの遮断が起きれば都市機能はマヒする。水道管の耐震化など「国土強靱化<sup>きょうじんか</sup>」が進められてはいるが、その先を行くインフラの老朽化や維持管理の費用が難題として立ち塞がる。
- ⑤和歌山市では災害とは関係なく水道橋が突然、崩落して市民生活に大きな影響を与えた。米国でもインフラの老朽化対策が重要課題になっている。近代化で先行した先進国がかえって重い負担を迫られる時代なのかもしれない。
- ⑥久しぶりの大きな揺れに「首都直下地震」のリスクを改めて思い起こした。家庭でも都市の弱

点を踏まえた対応策を話し合っておきたい。

(毎日新聞「余録」2021年10月9日東京朝刊による。出題の都合上、一部改変した。)

**【注】**

- \* 7日夜の地震…2021年10月7日午後10時41分ごろに発生した千葉県北西部を震源とする地震。